

農業後継者育成基金事業

平成24年度農業青年グループ等育成事業（地域青年農業者等グループ助成）

事業主体名 GFTグループ（薩摩川内市）

1 目的

本市ハウスきんかんは、農業公社研修事業卒業生などの新規参入者や農業後継者の確保も他の品目と比較すると進んでいるものの、近年の単価安の影響で今後の産地を担うこれら生産者の農業経営は大変厳しい状況である。

本市では、これらの打開策の一つとして海外（香港）への出荷を開始したものの、出荷期間が円高の厳しい時期であったことや、実施1年目ということもあり、その取引数量は850kg程度と低く、今後取引数量の増大が必要と思われる。

そこで、海外出荷量を増大させ、一つの販路として確立するため、現地（香港）バイヤーと国内貿易会社を本市へ招へいし、現地ニーズを把握し柔軟に対応するとともに、本市きんかんを知ってもらい、友好的で強固なパイプをつくることによる安定取引の実施による産地育成を図る。

また、当会員は今後の本市きんかんを将来担っていく農家を中心として組織されていることから、これまで以上の技術向上や消費者動向、ニーズに対応したマーケティング活動の充実を図っていくことが必要とされることから、その一環とした取組を実施する。



2 実施状況

（1）海外バイヤー等招へいの実施

香港のデパートバイヤー、香港貿易取引商社、国内貿易会社の3名を本市へ招へいし、本市きんかんの取組状況等の紹介など現地での意見交換の実施。

栽培方法や特徴、苦労面など本市きんかんについて確認してもらったことで、訪問者も大変勉強になったようで、今後の末永い取引を確認できた。



（2）他産地きんかん比較調査

本市ハウスきんかんと競合産地において出荷・販売されているものと本市のものを食味、パッケージ等の比較を行った。

消費者が購入しやすい量目、資材、デザインなど今後の本市きんかんの販売戦略を立てるうえで大いに参考となり、新たな出荷資材の作成について部会への提案・協議を進めることがグループとして確認できた。



3 今後の課題、取組

本市きんかんについても他の品目同様、生産者の高齢化が進み、生産者戸数は年々減少傾向である。

そのような中、当グループでは将来の本市ハウスきんかんの維持・活性化を図ることを目的に、各種研修会やマーケティング活動の充実化などについて積極的に展開するとともに、自身の農家経営の安定に資する。